様式第２号(事業別概要)

No.

平成３１年度　一般会計 予算内示 事業別概要書（当初）

款	9. 教育費	大事業	18. インクルーシブ教育システム推進事業
項	1. 教育総務費	中事業	
目	3. 教育研究指導費	担当所属	教育センター

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度当初予算額	増減額	前々年度決算額
臨時	単独	計画	0	0	2,171

実施計画				
	第３章	心豊かな人づくり、まちづくり	5年間計画額	11,325
			平成28年度	2,301
	基本施策７	心の教育の推進	平成29年度	2,301
			平成30年度	2,301
	施策４	一人一人のニーズにあった教育を推進します	平成31年度	2,211
			平成32年度	2,211

本年度事業費	（歳　入）	（歳　出）
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		2,199

財源内訳								一般財源
本年度当初要求額								0
本年度当初査定額								2,199

＜事業に関する説明＞

（事業の概要）・ことば等の発達に課題のある児童への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援の充実を図ります。
・地域資源の組み合わせ（スクールクラスター）を活用し、発達に課題のある幼児児童生徒への支援について関係機関が連携し、継続的に行うことのできる体制づくりを行います。

（事業の目的）・ことば等の発達に課題のある児童の教育的ニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく適切な支援が受けられるようにします。
・障害の有無にかかわらず、発達に課題のある幼児児童生徒について、地域の関係機関が連携して支援にあたることのできる体制を構築します。

（事業の効果）・ことば等の発達に課題のある児童への教育的効果を高めることができます。
・発達に課題のある幼児児童生徒の育ちを支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えることができます。

（事業実施上の問題点）・関係機関が連携し、障害のある子供への適切な合理的配慮を提供するためには，校内体制の整備をし、教職員の十分な理解が必要です。

（前年度からの見直し点）・学校支援コーディネーターを積極的に活用し、さらに関係者間の連携による支援を充実させます。

（見積についての特記事項）・専門性の高い講師を招聘し、ことば等の発達に課題のある児童生徒への合理的配慮や関係機関との連携に関する教職員の専門性の向上を図ります。

節	本年度当初査定額	前年度当初予算額	増減額
07	2,176	2,181	△5
08	10	10	0
11	13	40	△27

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度要求額	本年度査定額	前年度予算額	増減額
差引一般財源								0	2,199	0	2,199

（佐倉市）